



明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成30年 8月29日

二学期
スタート

2学期の始まりにあたって

今年の夏は気温の高い日が続き、水泳指導や地域プールの中止など大きな変更がありました。外へ出ることが制限されいつもと違う夏休みだったかもしれませんが、子どもたちは元気な顔で登校してきました。長い休みに様々な経験をして少し成長した姿でたくさん話を聞かせてくれることでしょうか。夏休み中はラジオ体操や地域の行事など保護者、地域の役員の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

2学期はたくさんの行事があります。期間の長い2学期をどのように過ごすのか、めあてを持って過ごしてほしいと思います。有意義な2学期になることを期待しています。

先日、公共施設に行った時のことです。階段状のベンチがありそこに座っていると、小学生らしき子どもがそのベンチの上を土足で歩いて移動していました。すぐ横には多くの人が座っているにもかかわらず座る場所を土足で歩いていたのです。その子どもは保護者と思われる人の横に座りましたが、その後その保護者も同じようにベンチの上を土足で移動してどこかへ行ってしまいました。その様子を見て私はとても悲しい気持ちになりました。人が座る部分を土足で通ると、自分は歩きやすいかもしれないけどほかの人が困るということを考えられないのでしょうか。

しばらくして、別の子どもが同じようにベンチの上を歩き出し、また悲しい気持ちになっていたら、すぐ横の保護者の方が注意し「そこは座る場所だから。」と言い聞かせていました。この様子を見て少しほっとしました。これが普通の行為だと思いますし、ほとんどの保護者の方がこのように子どもを指導していらっしゃるのでしょうか。子どもは近くの大人の行動をよく見ていて、同じように行動します。子どもの手本となれるような行動をしたいものです。



校長 池田 弘一

ボランティアの心がまえ

ボランティアの男性が2歳の男の子を発見したことが大きな話題となりました。この男性は様々なボランティアに参加されていますが、食料などすべて自分で持ちこみ、寝泊まりも自分で考えてされているようです。テレビのインタビューの中で「『お手伝いをさせていただく。』という気持ちでボランティアに参加している。」とおっしゃっていました。

日本では災害で被災された地域には、すぐにボランティアの方が集まり力を貸してくれます。困っている人の力になりたいという人がたくさん集まってくれます。「やってあげるのではなくさせていただく。」子どもたちにもこのボランティアの心がまえを持ってほしいと思います。